

蕨市議会だよりナンバー230 2025年6月発行号

表紙写真、今回の表紙は、市内にあるわらびりんごの木をわらびりんごまっぷにまとめてみました。ほかにもいろいろな場所にあるので、市内を散策して見つけてみてはいかがでしょうか。また、サイダーやシャーベットなど、多くの皆さんにわらびりんごを味わっていただきたいです。販売場所については、市ホームページをご覧いただくな、蕨市議会までお問い合わせください。

蕨市議会広報広聴委員会

電話番号 048-433-7733

FAX番号 048-432-7991

令和7年3月定例会は、2月17日から3月21日までの33日間で行われました。

今定例会では、市長から施政方針表明が行われ、2月25日には、人事案3件を原案のとおり同意しました。

代表質問では、5人の議員が施政方針や市政全般について質問を行いました。6から8ページ参照

一般質問では、12人の議員が市政の重要課題をそれぞれ取り上げました。9から15ページ参照

最終日の採決では、陳情1件を不採択とし、市長提出議案31件を原案のとおり可決したほか、議員提出議案3件を原案のとおり可決しました。

議員提出議案第2号「令和7年度蕨市一般会計予算に対する附帯決議」を原案可決

今定例会では、令和7年度蕨市一般会計予算に対する附帯決議が議員提出議案として提案され、賛成多数で原案のとおり可決されました。本附帯決議は、蕨市立病院の建替え整備について、今後、新病院建設基本設計が策定される中、業務形態の変更について説明がなく、適切なプロセスが踏まれていないことから、次の3点において対応を求めるとするものです。本附帯決議の内容等については次のとおりです。

提出者 しんじょうかい・公明党・日本維新の会

附帯決議の内容 令和5年第5回定例会において、議案第87号に対する附帯決議を議決したこと、「蕨市立病院整備検討審議会以下審議会という」が設置され、「蕨市立病院整備基本構想・基本計画案以下計画案という」が策定された。また、市議会では「蕨市立病院建替え整備特別委員会以下特別委員会という」を設置し、病院の在り方、持続可能な運営について検討しているところである。

しかしながら、突如として国民健康保険診療施設への移行の話が発表されたが、審議会及び特別委員会に対して一切説明がなされていない。今後、策定される新病院建設基本設計において適切なプロセスが踏まれておらず、疑義を抱かざるを得ない。

新病院の礎となる計画案において、本市はこの予算を執行するにあたり、次の項に取り組んでいくよう、強く求めるものである。

1. 国保直診適用を考えていること、及びその理由を審議会委員・市民に説明すること。
2. 移転建替えに係る概算事業費は示されたが、より細かな概算事業費の積算根拠、充当財源の

見込み 国・県からの補助金、企業債、一般会計からの繰出しなど、主な医療機器の更新計画、事業費の年次計画、企業債の元利償還計画表について、出来る限り速やかに示すこと。

3. 本事業に関する変更があった場合には、速やかに議会と情報共有すること。

反対 日本共産党

国保直診に関する議論は、6月定例会に向けて新たに提案や議論が必要となる段階である。これまでの「蕨市立病院基本構想・基本計画」における新病院整備の基本方針の方向性に沿うもので矛盾はない。回復期医療の役割や、地域包括ケア病床等の整備の議論にも沿った内容であり、プロセスの不備等を掲げて提案された附帯決議には賛成できないため、反対する。

反対 無所属 えのもと議員

代表質問や一般質問等を通じて聞く機会があったのにもかかわらず、なぜ今になって問題化するのか理解できないため、反対する。

反対 無所属 みやした議員

一般、特別会計

一般会計 321 億 8 千万円

特別会計 158 億 7,200 万円

国民健康保険 72 億 500 万円

錦町土地区画整理事業 14 億 6 千万円

介護保険 60 億 9,200 万円

後期高齢者医療 10 億 8,700 万円

公共用地先行取得事業 2,800 万円

企業会計

病院事業会計 収益的支出 33 億 9,374 万 4 千円

水道事業会計 収益的支出 14 億 1,507 万 1 千円

公共下水道事業会計 収益的支出 16 億 6,510 万 8 千円

蕨市全体の予算

一般会計 321 億 8 千万円

特別会計 158 億 7,200 万円

企業会計 64 億 7,392 万 3 千円

合計 545 億 2,592 万 3 千円

令和 7 年度に実施する主な新規、拡充事業

市議会では、令和 7 年度予算の内容について、予算決算常任委員会の総務・環境福祉経済・教育まちづくりの 3 つの分科会において、詳細にわたり審査を行っています。

令和 7 年度の予算と主な新規・拡充事業について、審査を行った分科会ごとに紹介していきます。

総務分科会

災害対応ドローンの導入 930万7千円

河川氾濫等の大規模水害対策をはじめ、火災や救助事故など、様々な災害に対して、俯瞰的視点からの情報収集が可能となる災害対応ドローンを整備します。

また、収集した映像を確認し、災害状況を把握するための映像配信システムを併せて整備します。

青色防犯パトロールの実施 149万8千円

防犯対策の更なる強化を図るため、帰宅時間帯を中心に蕨駅周辺で青色防犯パトロールを実施します。

ライン公式アカウントの導入 196万9千円

ライン公式アカウントを活用し、市民ニーズに合致した市政情報をプッシュ型で通知するほか、市ホームページなどと連携を図ります。

災害対策用備品の充実 2, 969万4千円

大規模災害での避難所の生活環境の向上のため、ラップ式トイレやテント型集合トイレ、簡易ベッド、屋内用テントなどの備品の充実、整備をします。

市民会館改修事業 6億2, 839万3千円

市民会館の長寿命化に向けて、老朽化したコンクレートホール内の舞台照明設備や舞台床、客席などをリニューアルします。

自治体DXの推進 75万円

生成AIやノーコード開発ツールなど、デジタル技術により、市役所業務の改善、効率化を図ります。

環境福祉経済分科会

ヤングケアラーコーディネーターの配置 154万円

関係機関と連携してヤングケアラーの相談支援を行うヤングケアラーコーディネーターをこども家庭センター子ども未来課内に配置します。

セカンドブック事業 110万円

ブックスタートのフォローアップとして、読書の楽しさを知り、読書週間を身に着けてもらうため、3歳6か月児健診の際に絵本をプレゼントします。

母子健康手帳アプリの導入 449万7千円

母子健康手帳情報の電子化、また、妊娠届出や妊娠8か月時アンケート、産後ケア事業利用承認申請などの電子申請を可能とすることで、市民の利便性の向上と、事務の効率化を図ります。

公共施設太陽光発電設備等の導入調査 955万5千円

第3次蕨市環境基本計画の重点プロジェクトであるソーラー蓄電池ステーションの開設に向けて、公共施設に太陽光発電設備や蓄電池などを整備するための基礎調査を実施します。

がん患者への支援 139万4千円

アヤ世代の終末期がん患者が在宅療養に必要とする生活支援費用の一部を補助する制度や、ウィッグ、乳房補整具などの購入費を、2万円を上限に支援するアピアランスケア用品購入費助成金制度を創設します。

市立病院建替え整備の推進 1億2, 784万円

市立病院移転建替えの基本設計着手とともに、開院支援業務を委託します。

教育まちづくり分科会

不登校の子どもたちへの支援充実 2, 867万6千円

不登校児童、生徒が安心して教育を受けられる校内教育支援センター、イーステーションを市内3中学校に整備し、臨時教員とサポートスタッフを配置するほか、県が配置したスクールカウンセラーに加え、新たに市独自のスクールカウンセラーを増員し、より充実した支援を図ります。

日本語特別支援教室の整備 535万8千円

日本語指導が必要な児童、生徒の増加に対応するため、教育センター内の日本語特別支援教室に加え、新たに東中学校内に同教室を整備します。

耐震シェルター等設置補助 70万円

木造住宅耐震改修補助金制度を拡充し、新たに耐震シェルターなどの設置に対して、10万円を上限に、費用の2分の1の補助を行います。

教育ICTの推進 3億8, 130万9千円

児童、生徒の学習用端末を一斉更新するほか、ICT教育支援員を小・中学校10校に対し増員します。また、東中学校に新たにDXルームを整備します。

公園等整備事業 3, 764万2千円

錦町1号公園整備工事や、蕨市民公園ボール広場整備工事の実施設計、塚越グラウンド改修工事の基本設計を実施するほか、2公園のトイレ改修工事や富士見第2公園内テニスコートの照明灯改修工事などを実施します。

令和7年3月定例会における議案等に対する賛否結果

陳情第3号 国に対して「物価高騰を上回る最低賃金の引き上げと地域間格差の解消、縮小を図

ることを求める意見書」の提出を求める陳情

新翔会× 共産党○ 公明党× 無所属（えのもと議員）○ 無所属（みやした議員）○

日本維新の会× 結果 不採択

議案第 5 号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

全会一致で賛成 原案可決

議案第 6 号 蕨市職員の配偶者同行休業に関する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 7 号 蕨市民会館設置及び管理条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 8 号 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び職員の育児

休業等に関する条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 9 号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 10 号 蕨市職員退職手当条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 11 号 蕨市手数料条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 12 号 蕨市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の

一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 13 号 蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 14 号 蕨市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で賛成 原案可決

議案第 15 号 蕨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 16 号 蕨市地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例
全会一致で賛成 原案可決

議案第 17 号 蕨市奨学金条例及び蕨市文化活動事業資金条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 18 号 令和 6 年度蕨市一般会計補正予算第 7 号 全会一致で賛成 原案可決

議案第 19 号 令和 6 年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算第 3 号 全会一致で賛成 原案可決

議案第 20 号 令和 6 年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算第 2 号 全会一致で賛成 原案可決

議案第 21 号 令和 6 年度蕨市介護保険特別会計補正予算第 2 号 全会一致で賛成 原案可決

議案第 22 号 令和 6 年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算第 1 号 全会一致で賛成 原案可決

議案第 23 号 令和 6 年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計補正予算第 2 号 全会一致で賛成
原案可決

議案第 24 号 令和 6 年度蕨市立病院事業会計補正予算第 1 号 全会一致で賛成 原案可決

議案第 25 号 令和 6 年度蕨市公共下水道事業会計補正予算第 1 号 全会一致で賛成 原案可決

議案第 26 号 令和 7 年度蕨市一般会計予算 全会一致で賛成 原案可決

議案第 27 号 令和 7 年度蕨市国民健康保険特別会計予算 全会一致で賛成 原案可決

議案第 28 号 令和 7 年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計予算 全会一致で賛成
原案可決

議案第 29 号 令和 7 年度蕨市介護保険特別会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 30 号 令和 7 年度蕨市後期高齢者医療特別会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 31 号 令和 7 年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 32 号 令和 7 年度蕨市立病院事業会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 33 号 令和 7 年度蕨市水道事業会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 34 号 令和 7 年度蕨市公共下水道事業会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 35 号 教育委員会教育長の任命の同意について
しんじょうかい 9 名のうち、こばやし議員、ともと議員、かなまる議員「退席」、左記 3 名を除いた 6 名の議員「○」。
公明党 2 名採決に加わらない議長を除く、のうち、ほんだ議員「欠席」、左記を除いた 1 名の議員「○」。
共産党○ 無所属（えのもと議員）○ 無所属（みやした議員）○ 日本維新の会○ 結果同意
議案第 36 号 教育委員会委員の任命の同意について
公明党 2 名採決に加わらない議長を除く、のうち、ほんだ議員「欠席」、左記を除いた 1 名の議員「○」。
しんじょうかい○ 共産党○ 無所属（えのもと議員）○ 無所属（みやした議員）○ 日本維新の会○ 結果同意
議案第 37 号 教育委員会委員の任命の同意について
公明党 2 名採決に加わらない議長を除く、のうち、ほんだ議員「欠席」、左記を除いた 1 名の議員「○」。
議案第 38 号 市道路線の認定について 全会一致で賛成 原案可決
議員提出議案第 2 号 議案 26 号「令和 7 年度蕨市一般会計予算」に対する附帯決議
しんじょうかい○ 共産党× 公明党○ 無所属（えのもと議員）× 無所属（みやした議員）× 日本維新の会○ 結果 原案可決
議員提出議案第 3 号 蕨市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決
議員提出議案第 4 号 市長の専決事項の指定について 全会一致で賛成 原案可決
議員提出議案第 2 号については質疑が、陳情第 3 号、議員提出議案第 2 号については討論が行われました。質疑、討論の詳細な内容は蕨市ホームページ「蕨市議会」の「録画放映」からご覧ることができます。

代表質問

代表質問とは、一般会計当初予算案や市政全体にわたり、各会派の代表者 1 名と、2 人以上の議員で構成する会派に所属していない議員がそれぞれの持ち時間で質問する制度です。

まちの変化に合わせた柔軟な施策を
しんじょうかい まえかわ やすえ
単身高齢者の住宅問題について

議員 単身高齢者の賃貸住宅確保の現状はどうか。

健康福祉部長 単身高齢者世帯の増加等により、高齢者をはじめ、住宅確保要配慮者の賃貸住宅への円滑な入居ニーズが高まっていると考える。法改正の対応を注視するとともに、住宅確保要配慮者居住支援協議会の設置の在り方や、居住支援体制等について研究していくことが課題だと認識している。

議員 市としてできることは積極的に取り組んでいただきたいと要望する。

蕨駅西口地区市街地再開発事業について

議員 物価高騰、人件費高騰等の影響が心配される中、進捗状況はどうか。

都市整備部長 現在は、施設建築物の基礎工事や地下の躯体工事が実施されている。

市長 工事の大半は基礎部分で見えない工事が多いが、順調に進んでいる。工事の進捗状況を不安視する反応もあったため、看板やホームページ等にスケジュールを掲載している。これからも情報発信を行っていく。

未来を担う子どもたちへの教育施策について

議員 子どもたちの学びの多様化施策はどうか。

教育長 令和7年度から中学校3校にイーステーションを整備する。教室に入れない生徒が学びにアクセスでき、居場所となる機能を考えている。多様な学びの場を提供していくことで、生徒の興味・関心が高まり、学びにアクセスできる選択肢を増やす取り組みにも力を入れていきたい。

議員 中学校3校同時に開設ができるよかったです。今後は課題等を検証しながら推進してほしい。

市立病院について

議員 市立病院に国民健康保険診療施設を適用する話が市立病院運営審議会で出ているがどうか。

病院事務局長 検討を重ね、国民健康保険診療施設としての位置づけが当院にとって有益であると判断し、条例改正に向け、関連する国民健康保険運営協議会並びに市立病院運営審議会に考え方を示したところである。

議員 業態を変える等、報告事項があるときは、説明会等を設け、丁寧な対応をお願いしたい。

議会と市長の関係性

議員 昨今の物価高騰等の中で、市と議会が事業と一緒に進めていくことが今まで以上に大事だと思うがいかがか。

市長 市民の願いに応える、市の発展のために尽力したいという共通の思いを共有しながら、まちづくりを進めていきたい。情報発信、議会への適切な情報提供を含め、さらに努力していく。

物価高騰の影響は深刻あったか市政のさらなる推進を

日本共産党 すずき さとし

議員 市民生活や地域の経済状況、市民の所得状況についての認識はどのようか。

総務部長 賃金上昇が一定程度進んでいる一方で、物価高騰の影響で暮らしは引き続き困窮。前年度当初との比較で、給与所得者が約4%増、自営業者が約6%増、年金生活者が約1%増と全体で所得増だが、支出も増となり余力がある人は限られていると認識。

議員 「加速化」を目指す分野や施策、「あったか市政」の位置づけ、さらなる物価高騰対策につ

いての見解は。

市長 安全、安心のまちづくり、子育て、教育の充実、介護、健康づくり、にぎわい創出等の取り組みが着実に前進。人口減少社会への対応、大規模災害対策、社会インフラが老朽化する中での対応、心が通い合う市政等の課題も市民の支援で進めることができた。その成果の上に取り組みを加速化・本格化させ、「あったか市政」第2ステージのギアを一段上げたい。

物価高騰という大変厳しい状況がある。未来に向けた取り組みは進めるが、原点の暮らしを支える市政も引き続き推進する。直接的な物価高騰対策は重要な課題であり、国と市の対策をトータルなものとして取り組む。あらゆる施策の中で暮らしを支える市政をさらに発展させたい。

議員 物価高騰の影響は広範にわたることにも目を向けて市政にあたるよう要望する。

にぎわい、魅力あるまちづくりの推進を

議員 重要と考える対策は。スマートウエルネスシティ、地域の魅力再発見、市民参加等の取り組みが効果的と考えるが見解はどのようか。

市長 駅前再開発完成を見据え、全体のにぎわい・地域の回遊性につなぐことが重要。中山道にぎわい交流拠点の整備、中央第一地区整備が進み、市役所庁舎でのマルシェやJA直売所なども定着。

「ぶらっとわらび」の利用やシェアサイクルの広がり、ウォーキングも併せて連動していく仕組みが中心市街地活性化の中心の一つ。既存事業者への支援、空き店舗対策も民間との協働など、インパクトある取り組みとして進める。魅力発見では蕨ブランドやわらびりんごでの市民や飲食店の参加も広がる。トータルな取り組みとして推進したい。

議員 市民参加は持続的な流れにつながる。期待する。

不妊症治療への支援拡充

議員 現在の支援と新年度の不妊治療費（先進医療）助成金のそれぞれの内容は。

健康福祉部長 今年度は不妊検査費と不育症検査費に助成。新年度は保険適用の不妊治療と併用し自費で実施される先進医療に7割を助成（1回15万円、回数制限あり）。

奨学金貸与事業の拡充

議員 貸与額が増額されるが、申し込み資格等について検討状況はどのようか。

教育部長 収入要件の緩和を予定する。より利用しやすい制度になるものと考える。

令和7年度の行政運営及び市長の施政方針について

公明党 やじま さとこ

財政運営の見通しは

議員 今後、庁舎、蕨駅西口再開発、西公民館、松原会館、市立病院など、大型公共事業建設費の返済が膨らんでいく中で、市民サービスをこれまで通り継続していくことについて、将来における財政運営の見通しはどのようか。

市長 この間、財政健全化の努力を行ってきており、大きな事業を担いながら、同時に市民サービスを担っていくことは十分可能であるという見通しは立てている。健全化を進めていく上で、市税の収納率を向上させる取り組みを引き続き行うことや、国の補助金を積極的に活用していくといった努力をしながら、しっかりと対応していきたい

蕨市立病院整備基本構想、基本計画案について

議員 蕨市立病院整備基本構想、基本計画案では、新病院整備の基本方針が示されているが、本市の財政に見合った計画であるか。

病院事務局長 急性期医療の継続や地域包括ケア病床の確保、周産期医療、小児医療の提供など、8つの基本方針を掲げ、概算事業費についても当院の経営、市の財政と照らしても過剰ではないと認識している。一方で、建設資材等の物価が不透明な中、ローコストでの整備による建設費の抑制や、病院事業債による市への交付税措置などとともに、安定経営への取り組みを進めていくなど、財政の負担軽減につなげていく。

議員 市立病院跡地の活用計画はどのようなか。

総務部長 市立病院移転後の跡地は貴重な土地であり、今後、公共施設の再整備、再配置を検討する際にも、その活用については重要な課題であると考えている。なお、公共施設の再整備、再配置を検討するに当たり、公共施設等総合管理計画において、公共施設の総量の抑制を基本目標としていることなどを踏まえながら、長期的な視点で、市民からのニーズや将来的な動向、財政状況などを総合的に勘案し、検討していく。

議員 地震と内水ハザードマップが古いため改定すべきと考えるがどうか。また、改定時に市民用防災アプリを導入してはどうか。

市民生活部長 国の検討状況やそれを踏まえた埼玉県の動向などを注視しながら、地震ハザードマップの改定時期を見極めている。改定に際しては、内容や印刷物の構成のほか、アプリの導入なども含め、市民が有益な情報をより分かりやすく、より手軽に入手できる手段について情報を収集していきたい。

市長 防災アプリの導入については、実際の運用状況や費用対効果、優先度を検討する必要あり、引き続き先行事例の調査・研究をしながら、より効果的な情報発信の在り方を考えていきたい。

議員 日頃から防災に関する情報を効率的な方法で周知していただくことを要望する。

糖尿病から人工透析となるのを防ぎ医療費増大の抑制を

無所属 えのもと かずたか

議員 後期高齢者医療費のうち、糖尿病性腎症重症化予防対策事業委託料の積算根拠及び近年の実績は。

市民生活部長 重症化リスクの高い方への個別支援として保健指導を実施するに当たり、新規12名、継続17名分を計上した。令和4年、5年の2年間で7割の方が数値改善、もしくは横ばいであり、非常に効果があったと考えている。

議員 以前も一般質問で指摘したが、糖尿病から人工透析になると、1人当たり毎年数百万円の医療費がかかる。本人のためにもなるので、しっかり取り組んでほしい。

コバトンあるこうマイレージをさらに広め歩いて健康づくりを

議員 スマホのアプリで歩いてポイントをためて賞品を当てるコバトンあるこうマイレージでは、当選確率が低いため、私は昨年、蕨市独自の景品を提案し、12月に実施した500円分のデジタルギフトプレゼントキャンペーンでは、登録者数がかなり増えた。同様のキャンペーンを再度行う考えはないか。

健康福祉部長 12月のキャンペーンでは、アプリの登録者数が実施前の2.3倍となり、1日8千歩以上歩いた日が4日以上で、プレゼントの条件に該当した方が、アプリ登録者の3分の2であった。令和7年度も歩きやすい時期に行いたい。

新年度における「外国人住民への関わり方の改善」について

日本維新の会 すずき しんのすけ

議員 直近の外国人住民の人口はどのようか。

市民生活部長 令和7年1月1日時点での外国人総数は9,530人。

議員 安全で安心なまちづくりを進めていく上で治安対策等、外国人住民に対する地域社会のルール等の周知をどのように行っているのか。

市民生活部長 生活ガイドブックを作成するほか、多文化共生啓発紙においても生活に密着した情報を掲載し、公共施設や外国人の経営する店舗等へ配架及び転入時に配布し、周知に努めている。なお、行政や生活に関わる各種情報は、多言語化及びやさしい日本語での提供に努めるとともに、令和5年度には外国人総合相談窓口を設置する等、さらなる周知と理解促進を図っている。

議員 ごく一部の地域社会のルールを守れない外国人住民に対し、もう一步踏み込んだ対策や対応が必要だと思う。警察と連携して取り組むことは考えているか。

市民生活部長 これまで蕨警察署と共に様々な事例に対応してきた。今後も警察と連携しながら、市も含めて注意喚起する等、働きかけを行う。

議員 日本人、外国人住民関係なく、誰かが本気で向き合わないと、ルールを守れない方はもっと増加していくと思う。警察との連携や対応強化を要望する。

議会中継を実施しています

蕨市議会では、インターネットによる本会議の議会中継 ライブ中継・録画放映 を実施しています。パソコンやスマートフォンなどでいつでも簡単に視聴することができますので、ぜひご覧ください。

インターネット中継・録画放映を含む市議会のくわしい情報は、蕨市議会のホームページをご覧ください。

6月定例会の日程予定

6月2日 月曜日 開 会

4日 水曜日 議案質疑、委員会

5日 木曜日 委員会、分科会

6日 金曜日 委員会、分科会

9日 月曜日 委員会、分科会

16日 月曜日 一般質問

17日 火曜日 一般質問

18日 水曜日 一般質問、委員会

20日 金曜日 閉 会

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。

広報広聴委員会を開催しました

3月21日 6月発行号の概要について

5月14日 6月発行号の最終確認、議会報告会について

市政を問う 一般質問

3月定例会では、12、13、17日の3日間で12人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

生徒を第一に考える部活動の地域移行を目指して

しょうの こうじ議員（しんしょうかい）

議員 令和5年度から令和7年度までを国が「改革推進期間」と位置づけ、段階的に部活動を地域へ移行する方針が示された。本市における現状、及びこれまでの経緯はどのようか。

教育長 令和5年11月から実証事業として、陸上、剣道、柔道の3種目で休日の地域クラブ活動を開始、令和6年度は、年間で40回程度の活動を計画している。また、令和7年度には、新たに水泳を加え、4種目で実施する予定である。

議員 団体競技や文化系の部活動についてはどのようなようか。

教育長 令和9年度を目途に文化系の部活動について、検討、推進していく予定である。学校の実情や児童・生徒の希望等を踏まえ、団体競技についても検討していく。

議員 貴重な中学3年間が無駄にならないよう、引き続き検討をお願いしたい。

約40棟の家屋の住居番号が同じであることについて

議員 集合住宅が増加する地域や狭い区画での再開発が進む地域では、住居番号の割り振りが複雑化している。集合住宅以外で同一の住居番号に複数の建物が存在することがあるが、市内で一番多い箇所では何棟か。

市民生活部長 市では法令等に基づき、昭和41年より道路や鉄道等によって区画された街区符号や各街区の境界線をおおむね10メートルから15メートル間隔で区切った住居番号による住居表示を実施し、住居表示台帳を作成している。新たな建物等が建造される際には、この台帳を基に住所を設定しているが、同一の住居番号が最も多い箇所は中央6丁目地内に存在し、およそ40棟がこれに該当するものと考える。

議員 1つの住居番号に戸建て住宅や集合住宅が混在している場合、郵便や宅配物の誤配送が発生しやすく、住民の利便性が損なわれることや、緊急時に救急車や消防車の到着が遅れることが懸念される。市の対応はどのようなようか。

市民生活部長 同一住所に新たな住居番号を振ることは大変難しく、枝番をつけることで、区別できるよう案内をしている。

議員 鴻巣市等で実施している、住居番号の後に枝番号を表示する補助番号プレート制度は、住民票等の変更はなく、住民や市の負担も少ない。導入を要望する。

期日前投票所の開設時間の弾力化を

ひき こうじ議員（しんしょうかい）

議員 昨年の衆議院議員総選挙では当日投票所が減少しており、投票立会人の成り手不足が一因と見られる。対策の一つに、車による移動期日前投票所の導入や、投票のオンライン立会いが実施されている。有権者の投票機会を確保するためにどのような検討がされているか。

選挙管理委員会委員長（以下委員長） 期日前投票所を自治会館から市役所新庁舎へ移したことにより、駐車場や投票スペースが広がり、バリアフリーとなつたため、環境が向上し投票機会の確保につながった。また、新たな期日前投票所を蕨駅西口地区市街地再開発事業で整備される図書館に設置することとしている。

議員 期日前投票所の開設時間の弾力化についてはどのように考えるか。

委員長 平成28年の法改正により、2時間の範囲内で繰り上げ、繰り下げが可能となっているが、費用対効果が見込めないことから、昨年の総選挙では、1市を除いた県内の市町村で、午前8時半から午後8時まで開設されていた。今後も投票しやすい環境の整備に向け、調査・研究を行う。

議員 開設時間の弾力化により、市民の利便性が高まり、利用が増えると考える。検討していただきたい。

クーポン付き広報蕨の発行について

議員 一部の自治体広報紙には、多種多様なクーポンを添付しているものがある。本市でも実施してはいかがか。

総務部長 広報紙は高い割合で市民の皆さんにご覧いただいている。クーポンの添付については、印刷費等の費用対効果を調査・研究し、広報紙を手に取ってもらえる工夫、改善に努める。

補助金10%削減の団体への見直しについて

議員 平成17年の行政経営戦略プランの策定に伴い、補助金が10%削減された各種団体への見直しについてどのように考えるか。

総務部長 団体活動や収支状況及び近隣市の状況等を勘案し決定している。団体より補助金が不足し、活動に影響が出ている等の相談を受けた際には、担当部署において適切に判断していく。

議員 市からも働きかけて、活動状況の把握をしてほしい。

ほかに「小・中学校での非行防止・薬物乱用防止教室」等について質問。

企業版ふるさと納税について

おかだ みきお議員（しんしょうかい）

議員 企業版ふるさと納税の取り組み状況はどのようか。

総務部長 令和2年度に国から認定された地域再生計画「蕨市まち、ひと、しごと創生推進計画」を活用した企業から、令和6年度までの5年間で合計10件、657万6,500円の寄附を受領している。

議員 企業版ふるさと納税マッチング支援委託での市長の考えはどのようか。

市長 エスディージーズや環境問題、防災等に、本市が積極的に取り組んでいることを、市ホームページやコンサルタント会社を通じて、積極的にPRしていくことで、寄附につなげていきたいと考える。公民連携の輪をさらに広げ、継続的に寄附していただけるよう努めていきたい。

議員 単なるマッチングにとどまらず、本市が企業と連携し、目標を達成するための具体的なプランを提示することで、支援を強化することが重要だと考える。

ボール遊びができる公園整備について

議員 ボール遊びができる公園整備の検討状況はどうか。

都市整備部長 スペースや騒音、安全対策など課題への対応とともに、地域や近隣の方々のご理解とご協力が必要であると認識している。防球フェンス等の安全施設の設置に対応可能なスペースを有しております、近隣家屋や利用団体への影響も比較的少ない市民公園駐車場奥の広場を整備場所として決定した。

議員 ボール遊びは、体力や運動能力を高めるとともに、コミュニケーション能力や自主性の向上につながると考える。子どもたちが伸び伸びと遊べるように、バスケットゴールや野球、サッカーの的の設置、また、複数のボール公園を整備することを要望する。

認知症予防対策について

議員 脳の認知機能に影響を与える40ヘルツの変調音が認知症予防に有効であるとの報告があるが、本市でも認知症予防対策に、音楽療法を取り入れる考えはあるか。

健康福祉部長 認知症予防対策は重要な取り組みの一つであり、他市での取り組み状況を調査、研究していきたい。

議員 取り組みを進めることで、地域住民の健康意識向上と認知症対策の推進に貢献できると考える。また、音楽療法を補完的な療法として位置づけ、医療機関や福祉施設との連携を図っていただきたい。

ほかに「ハクビシン等の捕獲駆除」について質問。

認知症対策について 「ユマニチュード」の普及を

やじま さとこ議員（公明党）

議員 認知症の人とともに生きる優しい共生社会のため、見る、話す、触れる、立つを4つの柱に、認知症の方の人間らしさを尊重するための技法とも言われるユマニチュードの普及について、本市の考えはどのようなか。

健康福祉部長 市内の介護事業所においては、人間らしく尊厳のある関わりを基本に認知症の方々のケアが行われているところではあるが、改めてユマニチュードの考え方を周知していきたい。

議員 市民にも周知をしてほしいと考えるがいかがか。

健康福祉部長 認知症地域支援推進員との協議等も踏まえ、周知の実施方法等については研究していく。

議員 市民講座等を開催し、積極的にユマニチュードを推進することを要望する。

高齢者等の買い物支援について

議員 錦町に住む市民の方々から、近くに買い物施設がなく困っているとの声を聞く。高齢者等の

買い物弱者の現状と今後の見通しはどうか。

健康福祉部長 介護保険の訪問介護や有償ボランティア事業による買い物支援及び宅配サービスの活用により、買い物をしていると認識している。今後は、介護予防事業等を充実させるほか、つえの配布やシルバーカー等、福祉用具の利用支援に努めていきたい。

議員 移動販売事業は高齢者の見守り役にもなるので、地元企業の協力を視野に考えていただきたい。

公共施設の照明LED化への取り組みについて

議員 令和9年末までに蛍光灯の製造、輸出入が全面禁止されることに対して、市民への周知はどうか。

市民生活部長 市ホームページを通じて、対象となる製品や廃止期限のほか、既存製品の取り扱いや廃棄方法、計画的なLED照明への切り替え等について周知を図っている。

議員 照明のLED化により、シーオーツーの排出量及び電気料を大幅に削減でき、「蕨市ゼロカーボンシティ宣言」にも寄与すると思うが、公共施設に対して、LED化の推進はしてきたのか。

総務部長 令和5年に建替えた市役所庁舎のほか、防犯灯や道路・公園照明灯等、LED化を進めてきた。今後は、既存照明器具の修繕や大規模改修等の機会を捉えて進めていきたい。

蕨市立病院の整備・運営について

とちもと よしかね議員（しんしょうかい）

議員 市立病院は昭和44年に国民健康保険診療施設（国保病院）の位置づけを廃止した経緯がある中で、再びその位置づけを考える目的、背景及びスケジュールはどうか。

病院事務局長 病院経営に関して、外部評価員から様々な意見を伺う中で、国保病院が目指す将来の医療提供の在り方と、当院の進むべき方向性が合致していることから、当院にとって有益であると判断した。国保病院としての位置づけをするためには、条例改正が必要であり、国民健康保険運営協議会及び市立病院運営審議会で説明し、6月定例会での条例改正案上程の準備を進めている。条例改正後には、国保病院で組織された協議会への加入を考えている。

議員 協議会へ加入することで、助成等はあるのか。

病院事務局長 国保病院の機能強化や地域包括医療の推進等の目的で、国から医療機器に関する助成や、施設整備等により電子カルテの導入、建替え等で助成が受けられる。

議員 国保病院となることで具体的に何が変わらるのか。

病院事務局長 病院を運営するに当たっての経理方法や体制等に変更はないが、国保病院が進めている地域包括ケアシステムでの医療により、病院スタッフの意識が高まるとともに、保健事業について、一層充実させていく必要があると考える。

議員 順天堂大学病院の移転が建設費の高騰で中止となった。今後、さらに高騰することが予測されるが、どのように考えるか。

病院事務局長 ローコストでの建設を目指しているが、医療という専門的な分野を踏まえ、コンストラクションマネジャーを病院管理支援の業務委託の中で採用し、品質管理やコスト管理を踏まえた設計をしっかりとしていく。

水害対策の強化について

議員 浸水センサの設置による情報の有効性及び活用についてはどのようか。

都市整備部長 道路冠水状況を直ちに確認することが可能となるため、迅速かつ円滑に災害対応に当たることができる。運用開始後、検知データと現場状況を確認しながら検証していきたい。

議員 水害の被害軽減や対策につながるものとして期待している。

ほかに「消防力の充実」について質問。

蕨市からシャッター街をなくす まちのブランディングを

すずき しんのすけ議員（日本維新の会）

商店街をはじめとする市民の集う場の創出及び活性化について

議員 中心市街地活性化プランは、現在どのような状況か。

市民生活部長 エリアリノベーション事業については、空き店舗有効活用事業補助金制度を設けているほか、空き店舗等の有効活用等の促進に関する協定を締結した。資金の融資や創業支援、また、空き店舗所有者に対し、店舗のリノベーションや創業希望者とのマッチング等、一連の管理を代行するサブリースの手法によって空店舗の有効活用を図る等、にぎわいの創出と地域経済の活性化を推進するもので、本年1月には空き店舗等有効活用セミナーを開催した。経営体質の強化事業については、魅力ある店舗づくり支援事業補助金の活用と、蕨商工会議所の伴走型支援による経営体質の強化を図り、店舗周辺エリアのブランド力向上等にも取り組んでいる。

議員 このプランは市民にとって少し分かりにくく感じた。「このようなまちにしたい」といったブランディングをはっきりと描き、完成図を示すことによって、事業者の心の矢印が上向きになると思う。まちのブランディングを行うことを要望する。

キッチンカーについて

議員 市役所敷地内に出店しているキッチンカーの効果はどのようか。

市民生活部長 市職員、来庁者をはじめ、子ども連れの家族や近隣事業者の従業員等、利用者が増加しているほか小規模事業者支援にもつながるとともに、市役所周辺のにぎわい創出にも寄与しているものと認識している。今回の実証実験の結果や事業者を対象にしたアンケート結果を踏まえ、4月からは事業者募集要項を新たに整備し、庁舎周辺のさらなるにぎわいの創出につながるよう期待している。

議員 供給が増加している中、毎日出店するのではなく、曜日を限定することで、需要もそれに合わせて増えていくと考えるがいかがか。

市民生活部長 利用者とキッチンカーの台数が減少していく状況であれば、日にちを絞ることも必要だと考える。しかし、現段階では数十台の出店希望があり、極力ご要望に応えるため、抽選方式となつてはいるが、ほぼ均等に出店できるよう対応している。

気候変動、温暖化対策のさらなる推進を

すずき さとし議員（日本共産党）

議員 大規模化し頻発する林野火災の背景には深刻化する地球温暖化の影響がある。この課題で本市が役割を果たし、快適で持続可能なまちづくりにもつながるよう願い質問する。第3次環境基本計画の進捗状況と課題はどのようか。

市民生活部長 拡充した太陽光発電や蓄電池等への補助制度の積極的な活用推進、片品村と連携したカーボンオフセット事業、プランターファームインわらび等を実施。新年度はこれらに加え、電気自動車の導入、ソーラー蓄電池ステーションの開設に向けた基礎調査等を推進。地域ぐるみでいかに省エネ化の促進、再生可能エネルギーの普及拡大を進められるかが課題。

議員 本市の二酸化炭素排出量の推移及びゼロカーボンシティ宣言の目標達成への取り組みについての見解は。

市民生活部長 基準年となる2013年度比で2018年度は約22・6%減、2021年度は約26・2%減。目標は2030年度で50%削減、2050年度にカーボンニュートラル。引き続き、市民、事業者、行政が一体に、持続可能な環境にやさしいまちづくりを加速化させたい。高齢者が安心して暮らせる地域のために議員認知症の理解と取り組みについて、世田谷区では、認知症とともに生きる人の権利を尊重すること等を内容とする「認知症とともに生きる希望条例」を制定しているが、検討する考えはないか。

健康福祉部長 世田谷区の条例の理念は、国の認知症施策推進基本計画の「新しい認知症観」につながる。改めての条例制定は考えていないが、理念を踏まえ理解と取り組みの推進に努めていきたい。

議員 認知症への備えとして「私の希望ファイル」の取り組みの検討を要望する。ところで、一人暮らし高齢者の住宅に関する相談や支援について見解はどのようか。

健康福祉部長 法改正（施行は本年秋の予定）により高齢者等、住宅確保要配慮者の受け入れ促進を図るとされている。「住宅確保要配慮者居住支援協議会」の設置の在り方等研究していく必要がある。

議員 現時点で深刻化している課題。相談窓口への住宅ソーシャルワーカーの配置や不動産業者団体への協力要請、公的保証人制度の具体化等、迅速な対応を要望する。

デジタルディバイドの解消に向けて

こばやし りき議員（しんじょうかい）

議員 デジタルディバイド解消に向けての具体策はどうか。

総務部長 公民館でのスマートフォン教室の定期的な実施に加え、ソフトバンクと連携し、店舗でスマートフォン教室が受講できるようになる等、対策を進めている。

議員 ペイペイプレミアム付きデジタル商品券の抽選等について、一定割合の方がたどり着けない可能性があることへの認識はどのようか。

市長 市としてはデジタルの活用を進め、施策のPR及び不慣れな方等への支援を一生懸命行うこととで、少しでも多くの人に理解いただき、やってよかったと思えるような施策にしていきたい。

議員 デジタルディバイドにより、不利益を被る市民が多数いると思われる。行政はその解決ためにどれだけ汗をかくかということだ。

子どもたちの安全・安心について

議員 惡質な犯罪から子どもたちの安全・安心を守るために防犯カメラは、現在、各学校の正門に1台のみ設置している。安全性をより高めるため、防犯カメラの増設を提案するが、本市の見解はどろか。

教育長 防犯カメラの増設は、抑止力の増強等、防犯面の向上が図れる一方、運用のコスト面や児童・生徒のプライバシーへの配慮を鑑み、最適な台数を研究・検討していく。

議員 安全パトロール員が毎日いる環境が望ましいが、業務委託をより充実させる考えはないか。

教育長 人員増加により、パトロール時間は増加するが、人件費等の費用の増大が考えられる。費用対効果も含め、学校の要望等も勘案し、委託内容についても研究していく。

議員 防犯カメラも、安全パトロールも、子どもたちの生命を守るという観点から非常に大事な案件だと思う。さらに前向きな検討を要望する。

年末年始のごみ収集について

議員 本年 12 月 30 日午後に行う、もやごみ回収の実証実験の課題や今後の見通しはどうか。

市民生活部長 住民に対する周知が課題であり、今後、該当地域の方々の意見やもやごみの排出状況、収集委託事業者の体制等を検証し、本格的な実施の可否を検討する。

議員 また、勤労感謝の日にごみ収集を休むことで、仕事が倍になり困っているようであれば、検討をお願いしたい。

西公民館・松原会館の複合施設には通信カラオケの設置を

えのもと かずたか議員（無所属）

議員 市内にカラオケ設備のある公共施設はどこか。教育部長公民館は北町のみ。

健康福祉部長 他に、けやき荘にも設置している。

議員 けやき荘のカラオケ設備は、非常に人気がある。年間の経費は。

健康福祉部長 機器のレンタル・配信料を含めて年額 26 万 4 千円。

議員 北町公民館のものは通信機能がなく、機器の使い勝手が悪い等という声があり、ほぼ使われていない。歌うことは、高齢者にとって外に出るきっかけ、仲間づくり、誤嚥性肺炎を防ぐ等の効果がある。今後、西公民館、松原会館の複合施設建設に当たり、高齢者のみならず、一般、子どもも利用できるので、通信カラオケを導入してはどうか。

市長 大きな声で歌うことは、心と体の健康につながる。設置する方向で考えていきたい。

ボランティア団体への支援促進を

議員 市内で活動するボランティア団体は会員の減少や、高齢化に悩んでいるようだ。かつて行っていたボランティア見本市を行う考えはないか。

市民生活部長 現在は、テーマ別のプチ交流会や、市民活動セミナー、フォーラム等を行っている。

議員 現状、多くの方が来ているとは感じられない。もっと多くの出会いがある仕組みづくりを。また、ボランティアポイントを導入している自治体もある。今後、検討を。

不登校児童・生徒への寄り添った対応を

議員 小学校低学年における不登校児童の近年の状況は。

教育部長 令和 3 年度が 4 名、令和 4 年度が 5 名、令和 5 年度が 11 名となっている。

議員 日々草学級を 4 年生以上としている理由は。

教育部長 低学年の場合、安全確保や食事等の生活面で配慮や支援すべき内容が多いため、現人員

体制では難しく、4年生以上としている。

議員 低学年の不登校児童にも、もっと寄り添った対応を。

中学生について、高校入試制度が2027年度から変わり、調査書が変更され、面談が必要になる。影響と対応は。

教育部長 出席の記載欄の有無は、これまでも合否に影響はない。面談については、不登校生徒はコミュニケーションが不安な場合もある。学校が慎重に家庭と連絡を取りながら指導していくことが必要。

少子化と多文化共生を問う 第3期創生総合戦略案

おおいし けいこ議員（しんしょうかい）

議員 若い世代が、結婚・出産、子育て期に市外に転出する傾向があると分析されているが、原因や対策はどのように。

総務部長 住宅取得時期と重なることがあり、本市は地価が高く、住宅取得が難しいことが原因と考える。三世代ふれあい家族住宅取得支援事業補助金等で定住を図っている。

議員 第2期創生総合戦略で、令和6年度出生数の目標値は650人であるが、2月末で445人である。少子化の原因をどのように考えるか。

総務部長 未婚率の上昇、晩婚化や、子育ての経済的負担が大きいことが、子どもを欲しいという気持ちを躊躇させてしまうと考えられる。

健康福祉部長 収入が少ないこと、あるいは、自分の時間を優先したいのではないか。

教育長 核家族化や、社会進出及び結婚・出産に関する女性自身の価値観の多様化等、様々な要因が挙げられる。

市長 一番大きな原因は経済的負担の大きさであり、非正規雇用の増加が考えられる。国全体の問題として、抜本的な政策の展開が重要である。

議員 少子化への考え方を理解した。子育て中だけではなく、不妊治療へのさらなる支援も要望する。

外国人住民は今年1月現在、9,500人(12・5%)で、445人の出生数中96人(20%)が外国人。策定3年目の多文化共生指針の進捗状況はどのように。

市民生活部長 4つの基本目標のうち、「地域活性化とグローバル化をはぐくむ人づくり」以外の3つの進捗状況はそれぞれ70から80%台で、残り2年で100%を目指す。

議員 塚越7丁目に300人ほど学ぶ日本語学校があり、その学校職員の地域清掃活動を知った。令和8年度に指針を見直す際は、地域の状況を十分に反映していただきたい。

小学校の通級指導体制を問う

議員 この教室は学習や集団活動を苦手とする児童に効果を上げていると聞くが、南小、中央東小にしかなく、他校からは保護者の送迎が条件となる。通学時間のロス等を考え、自校や近くの学校に設置できないか。

教育長 在籍人数が多い学校を対象に設置しており、人数の制限で指導教員が配置できないこともある。どこの地域でも同じ条件で対応できるよう検討していただきたい。

全ての子どもの笑顔と未来が輝く蕨へ

かなまる けんじ議員（しんじょうかい）

議員 不登校児童・生徒への支援について、議会で提案した内容が具体化されたことに深く感謝している。令和7年度から全中学校に設置予定のイーステーション（以下、エスタ）の概要はどのようか。

教育長 エスタは、不登校傾向にある生徒一人一人に応じた支援を保障し、生徒が学力やコミュニケーション能力を身につけることで、社会的自立を目指していくことを目的とし、落ち着いた空間で自分に合ったペースで学習、生活できる教室のことである。既存のステップアップルームとは異なり、教員免許を持った専任の教員と支援員を配置し学びの保障を行うほか、心にゆとりを持って生活できる居場所としても活用していく。

議員 こども家庭庁が居場所の要素をまとめている。また、先進事例では通っている子どもたちの顔が非常に良い。落ち着いて安心感があり、笑顔と希望、やる気がある。本市でもエスタがそういった居場所になれば有難い。

魅力ある活動を広報しいつまでも充実した毎日を

議員 介護予防や健康寿命の延伸には、生きがいや社会交流が効果的と言われているが、本市の考えはどのようか。

健康福祉部長 高齢者の社会参加や就労が健康増進につながり、年数回の社会参加でも死亡リスクや要介護リスクが低下するという報告があることを踏まえ、社会活動を行っている高齢者の増加を成果指標としている。

議員 川口市では、スポーツジムなどの民間団体や公民館団体を募集し、一覧にして市民に配布している。市民は割引で体験が出来て、自分に合った場所を探せる、団体としては会員増になる、市は介護予防になる取り組みだ。本市でも検討していただきたい。

また、視察した大阪府堺市では、男心をくすぐる「男、本気のコーヒー教室」「男、本気のスープ教室」など工夫し、コミュニティ活性化にもつながる。公民館をあまり利用していない男性に向けて、本市で取り入れる考えはあるか。

教育長 介護予防の観点からも、多くの方にご参加いただけるよう、例を参考に担当部局と連携し、研究していく。

ほかに「大震災時に市民だけで初期消火を行う必要性」「避難所開設用ボックスの中身の更新」等について質問。

資源回収かご軽量化や年末年始のごみ収集の検討はどう進んでいるか

やまわき のりこ議員（日本共産党）

議員 資源回収かごが高齢者にとって重くて配置や片付けが大変であるとの声から、誰でも取り扱いやすいかごや、ネットへと改良する考えはあるか。

市民生活部長 最も重さのある資源物用の青いかごに代わり、重さを3分の1以下の1・36キロ

グラムに軽量化したネット型容器の試作品を、昨年11月から全町会に1台ずつ貸与。今後は試作品の改良を図り、新年度は100台分を各町会に増設を図る。

議員 年末年始(12月31日から1月3日)のごみ収集の問題について、以前から指摘しているが、改善の考えは。

市民生活部長 年内最後の収集日となる本年12月30日に、午前は通常の火曜日の収集を行い、午後は錦町全域及び北町全域でもやすごみの特別収集を行う実証実験を行う。

議員 ごみステーションでの分別方法は誰にでもわかる見える化が必要だと思うが、実施してはどうか。

市民生活部長 今後、検討していく。

議員 戸別収集の利用状況は。

市民生活部長 高齢者要介護世帯35、障害者世帯3、その他3世帯の41世帯が利用。

健康アップ事業について

議員 新年度の特定健診受診率向上の取り組みは。

市民生活部長 全ての方が無料で受診でき、健診受診期間を1月末まで延長。「日曜健診」を、蕨市立病院、戸田中央総合健康管理センターで実施する等の取り組みを進める。

議員 歯周疾患検診について節目検診以外で595人の申込者数から200人が抽選となっている。関心が高い事業なので、さらに対象者数を増やす考えはないか。

健康福祉部長 今年度から歯周疾患検診の定員を100人から200人に拡大。受診率は143人と7割程度。制度の改善に努めていきたい。

議員 母子健康手帳アプリがやっと導入されるが、どのような機能が盛り込まれるのか。

紙の母子健康手帳も大切なので残してほしい。

健康福祉部長 記録機能、予防接種スケジュール等や、妊娠届出時の面談等の予約機能の導入を予定している。紙の母子健康手帳も残す。

ほかに「蕨市立病院を国民健康保険診療施設(国保直診)として位置づけること」等について質問。

蕨市立病院建替え整備特別委員会 中間報告

令和5年12月定例会において設置された蕨市立病院建替え整備特別委員会の委員長より、これまでの活動についての中間報告がありました。

概要

本委員会に付託されました案件は、「蕨市立病院建替え整備に係る調査研究について」、及び「蕨市立病院建替え整備に関連する調査研究について」であります。

第1回では、本委員会で扱う案件について、用地確保にかかる西公民館、松原会館の状況を含むことを確認し、第2回では、建替え候補地の検討が行われてきたこと、現在の病床規模で建替えを提案すること、交通アクセス改善についての意見があることが示されました。

第3回では、参考人の社会福祉協議会会长・事務局長より、建替えは市の事業として行うこと、土地の利用については市有地のため影響がない一方で、その在り方が課題となることが示されました。

第4回では、南部地域医療構想と本市の現状について、第5回では、医師、看護師、その他スタッフの体制確保における現状と今後の課題について、さらに、主な医療機器を含む医療機能・医療サービス等の現状などについて議論が交わされました。

第6回では、電子カルテ導入の可能性、個室病床、駐車場の様式について、ATMやコンビニエンスストアの導入について議論されました。

第7回では、これまでの議論を踏まえ、各委員から見解が示されました。

全7回の議論を通して、議会の立場から検討することができたものと考えております、また、市立病院移転建替えについての議論を深め、意見や要望を示すとともに、市立病院の在り方や将来に向けた役割についても議論を行ってきました。その内容は、一般質問等を通して、より多面的な議論につながったものと思います。社会経済状況の変化や医療ニーズの多様化などの内で、引き続き市立病院移転建替えの進捗状況にあわせて、本委員会での調査、研究が必要であると考えております。

政務活動費の領収書を公開しています

蕨市議会では、政務活動費の使途について、その透明性をより高めるために、蕨市議会ホームページにおいて令和6年度分の領収書等を公開しています。蕨市ホームページの「蕨市議会」からご覧になれます。また、議会だよりでは、令和6年度の政務活動費収支報告書を掲載します。

(議員1人当たり月額33,000円の政務活動費が交付されました。)

令和6年度政務活動費収支報告

しんじょうかい 9人

交付額 356万4千円

調査研究費 2万5,324円

研修費 77万113円

広報費 148万6,705円

広聴費 0円

資料作成費 38万4,804円

資料購入費 46万6,439円

支出額 313万3,385円

返還額 43万615円

日本共産党 4人

交付額 125万4千円

調査研究費 0円

研修費 1,856円

広報費 71万2,542円

広聴費 2,990円

資料作成費 20万9,134円
資料購入費 12万2,379円
支出額 104万8,901円
返還額 20万5,099円

公明党 3人
交付額 118万8千円
調査研究費 9,167円
研修費 3万440円
広報費 13万2,300円
広聴費 0円
資料作成費 37万7,840円
資料購入費 62万2,162円
支出額 117万1,909円
返還額 1万6,091円

日本維新の会 1人
交付額 39万6千円
調査研究費 9,167円
研修費 0円
広報費 0円
広聴費 0円
資料作成費 8万1,448円
資料購入費 0円
支出額 9万615円
返還額 30万5,385円

無所属 みやした議員 1人
交付額 33万円
調査研究費 0円
研修費 0円
広報費 0円
広聴費 0円
資料作成費 14万6,860円
資料購入費 0円
支出額 14万6,860円
返還額 18万3,140円

日本共産党は令和6年5月15日から会派人数が3人となっています。
無所属（みやした議員）は令和6年5月15日に会派届を提出し、令和6年6月分より政務活動費を支給されています。
しんじょうかいは430,615円を、日本共産党は205,099円を、公明党は16,091円を、日本維新の会は305,385円を、無所属（みやした議員）は183,140円をそれぞれ返還済みです。
※無所属（えのもと議員）は政務活動費の交付申請をしていません。

議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会は原則として一般に公開されており、傍聴することができます。

議場及び委員会室は市役所5階です。

事前予約は必要ありません。

お気軽にお越しください。

また、傍聴ロビーは本会議や委員会がない日でも眺望をお楽しみいただけますので、ぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか

編集後記

令和7年度がスタートし、2か月が経ちました。

緊張の日々を送っている方、ワクワクしている方もいるかもしれません。学校では入学式やクラス替えがあり、新しい友人づくりに奮闘の日々を送っている方もいることでしょう。

6月は、和暦では「みなづき」と呼び、その由来は諸説ありますが、「水の月」という意味で、田んぼに水を引く時期であったことから、そう呼ばれるようになったとのことです。水を引くと、そこに様々な生物が生息し、生命の活動が活発になります。緊張の日々も時が経つにつれ人との関係も活発になり、潤いに満たされるよう心から願っています。

さて、3月は予算を審議する議会もありました。本市は今、市立病院、西公民館・松原会館の移転建替えなど大きな課題があります。市議会では市民の声を市政に届け、生活が潤うよう奮闘していきます。今年度もよろしくお願ひします。

広報広聴委員会

委員長、おおいしけいこ

副委員長、かなまるけんじ

委員、みやしたなみ、すずきしんのすけ、おかだみきお、やじまさとこ、えのもとかずたか、すずきさとし、おおいしこういち、ふるかわあゆみ